

第 11 回理事会議事録

1. 日時 : 2013 年 8 月 30 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時 40 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F
3. 出席者:【出席 12 名】 細田博之、鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、
ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、寺本直志、
中谷忠義、久富浩、山田和彦
【欠席 1 名】 平田眞
【監事 1 名】 大泉紘一 (成田秀則、水谷建監事は欠席)
【事務局 3 名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数: 13 名、定足数 7 名、本人出席 12 名)

4. 議事の経過及び結果

細田博之会長を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 10 回理事会議事録案の承認について
議事録案を一部修正の上承認した。

第 2 号議案 公認クラブ申請について
以下の公認クラブ新設申請について審議の上承認した。
東和コントラクトブリッジの会 (クラス 2、オープン)
マネージャー: 宮田亮平
ディレクター: 広瀬令子
開催日: 毎週火曜 13:00～
会場: 東和地域学習センター (東京都足立区)

第 3 号議案 会友会費について
大政事務局長より、前回理事会のあと、8 月 3 日 (土) に浜松で開かれた地方クラブ会議において、地方会友値上げについて反対意見が相次ぎ、地方クラブ会議に欠席した地方クラブを含めたアンケートの要望があり、アンケートを実施して 8 月 9 日 (金) に企画委員会を開催し、会費について検討を行ったとの報告があった。

山田企画委員長より、平成 25 年度は暫定的に地方会友の会費を 2,500 円に据え置き、今後理事会決議により 3,000 円とする事として、他の会費については前回理事会決定どおりとする、8 月 9 日での企画委員会での討議内容について

ての説明があった。

これについて以下の発言があった。

- ・中谷：1年ほど前に会費について検討するという提案があったが、以前会友会費を値上げしてから時間も経っているため会費について検討することは必要な作業だが、変更の理由が、会費が複雑なことと会費が12で割りきれないという理由だけで変更する理由は薄弱である。地方会友と一般会友との格差が小さくなってきていることを説明すれば、地方会友の500円の値上げも納得できたのではないか。会報が同じ住所に2冊届く事が不要な会友に対しては、会報1冊分の費用を割り引いてはどうか。シニア会友の会費は多少割り引いても良いが本来一般会友に近づけるべきで、半額に割り引く必要はない。セクショナルのシニア割引廃止と絡めて会費値下げをするべきではない。
- ・齋藤：地方クラブ会議での説明自体が納得できるものではなかった。地方会友に対する配慮した説明が必要であった。
- ・神代：会費を値下げする事を含めて、説明が不足している。
- ・兼岩：地方会友を2,400円にしてはどうか。
- ・島村：地方会友はナショナル決勝への交通費助成などを受ける恩恵を受けている。東京から地方大会へ行く助成などはないため、これ以上地方会友を優遇する必要はないと思う。
- ・齋藤：会費制度を改めて検討してはどうか。

議長より、これまで時間をかけて企画委員会や理事会で討議したが、技術的な点が先に立ち、裏付けのないまま結論を出したと思われる。今後の方針について、新たに検討し直すか、地方への説明を含めてここで結論を出すかについて企画委員会で検討できないかと提案があった。

意見がまとまらないため、新たに検討するか、この場で会費の額まで結論を出すかについて採決を行ったところ、「新たに検討」が3名（神代、齋藤、中谷）、「この場で結論を出す」が5名（山口、島村、寺本、久富、山田）、棄権が4名（細田、鳩山、兼岩、ゲラー）と、出席した理事の過半数の賛成が得られなかった。

周知期間を考慮して、来年度からの会費変更はこの理事会で決定して会報に公示する必要があるため、改めてA会友6,000円、B会友3,000円、地方会友2,500円（地方振興策実施後3,000円）とする企画委員会案について採決を行い、賛成7名（鳩山、山口、ゲラー、島村、寺本、久富、山田）、反対3名（兼岩、神代、中谷）、棄権2名（細田、齋藤）となり、企画委員会案を採用することに決定した。

会報が不要な場合の割引額については事務局で検討することになった。
新たに会報原稿を作成し、役員に回覧後 10 月末発行の会報に掲載することに決定した。

第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田企画委員長より現在公認クラブ／ブリッジセンター対応は、普及活動については普及事業部が、競技会については競技会事業部が対応しているが、総合的に対応する窓口として、事務局にセンター・クラブ事業部を設置する提案があった。次回理事会に報告を行う。

センター協議 WG において公認料引き下げを提示するが、引き下げ額については WG とセンター側との協議内容を理事会に報告し、最終的に理事会が結論を出すことに決定した。

2. 競技委員会

寺本競技委員長より冬季 IMP リーグより VP スケールを 20.00 方式にするが、コンピュータ化されていないクラブについては整数版の 20 点満点方式でも使用可とする報告があった。

連盟主催競技会での携帯電話のペナルティについて、呼出音が鳴った時は、初回は警告とし、2 度目以降についてペナルティを科すことになったとの報告があった。ゲラー理事より電源を切るべき時とマナーモードにする時のペナルティを区別するべきとの発言があり、競技委員会で検討することに決定した。

3. 普及事業部

清水普及事業部長より普及事業部活動状況報告があった。

関西ジュニアペア碁および子ども霞ヶ関見学デーに出展した。

青山高校同窓会体験教室、飛鳥クルーズブリッジ講座の開催に協力した。センター主催の体験・入門教室の案内をセンター近隣のリビング新聞に連盟の費用で掲載することになり、その費用が 137 万 8 千円になったとの報告があった。

9 月 12 日付けの東京新聞の「始めま専科」のページに掲載されるとの報告があった。

総合パンフレットを改定した。

新規事業として以下の活動報告があった。

- プレイヤーズサロンを 10 月から開設
初級：1 水 18:30～21:30、中級：1 金 17:30～21:30 随時入退場可
- 学生による体験会：大学ブリッジ部員が他大学で体験会を開催

- 公認資格制度 WG：8月27日に第1回会合を開催。今年度中に制度の導入の有無を含めて結論を出す。
- 入門書出版：早大講座に準拠した「ゼロからのコントラクトブリッジ」を刊行
- ネットブリッジ：マイクロブリッジのアンドロイド移植が困難なため BBO での利用を検討中

ブリッジセンター支援として、助成規定の見直しを検討中。

4. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びゴールドライフマスタ2名、シルバーライフマスター7名、シニアライフマスター18名、ライフマスター24名の資格取得者の報告があった。

5. 国際交流事業部

8月4日から11日までアトランタ（アメリカ）で開かれた、世界ユースオープン選手権および8月19日から25日まで武漢（中国）で開かれた第19回 APBF ユース選手権の結果報告があり、世界ユースは4位入賞と健闘したが、APBF ユースはジュニア部門、ヤングスター部門ともゾーン6の3位以内に入れず、来年の世界ユースチーム選手権への出場権を逃したとの報告があった。

前回理事会で、小池和人氏に依頼することに決定したリアルタイムスコア表示システムの画面イメージの提出があった。

第2回アジアカップは2014年6月に中国山東省の泰安市で開催される見込み。

第5号議案 その他の議案

1. 会計報告について

7月末現在の収支状況についての報告があった。

2. 国際大会準備金

大政事務局長より、内閣府より事業報告書の内容について、国際大会準備金の残高を平成24年度末時点でゼロとするよう指示があり、指示どおり国際大会準備金を流動資産に移すと、遊休財産額が保有上限額を超えてしまうと報告があった。

今回は内閣府からの指示どおり修正を行うこととし、必要なら今後内閣府や会計監査人と協議を行うことに決定した。

3. 次回の理事会開催について

次回理事会は2013年10月25日（金）18時30分より開催する。

当日配布書類：第 1 号議案「第 10 回理事会議事録修正版」
第 3 号議案「会費についての地方クラブアンケート回答」
第 4 号議案「ユース報告」
「リアルタイムスコア表示システム画面イメージ」
第 5 号議案「月次収支実績」「正味予算管理月報」

平成 25 年 8 月 30 日（2013 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 11 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 大泉 紘一